

Market Watching

発表日: 2019年10月28日(月)

市場の関心はさらなる米利下げの可能性(マーケットウィークリー)

～雇用統計の結果次第では荒れるリスクも～

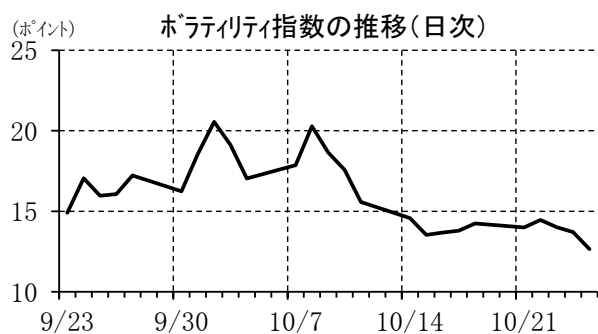
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
10月21日(月)	日本: 貿易統計(9月)・輸出	▲5.2%	▲3.6%	▲8.2%	前年比
	・輸入	▲1.5%	▲2.2%	▲11.9%	前年比
	・貿易収支	▲1,230	+540	▲1,435	億円
10月22日(火)	米国: 中古住宅販売件数(9月)	538	545	549	万件
10月23日(水)	—	—	—	—	—
10月24日(木)	スウェーデン: 金融政策委員会	▲0.25%	▲0.25%	▲0.25%	レボ金利
	ノルウェー: 金融政策委員会	1.50%	1.50%	1.50%	中銀預金金利
	ユーロ: PMI製造業景気指数(10月)	45.7	46.0	45.7	ポイント
	トルコ: 金融政策委員会	14.00%	15.50%	16.50%	1週間物レボ金利
	インドネシア: 金融政策決定会合	5.00%	5.00%	5.25%	7日物レバースレボ金利
	ユーロ: ECB理事会・ECB主要政策金利	0.00%	0.00%	0.00%	
	・ECB預金ファシリティ金利	▲0.50%	▲0.50%	▲0.50%	
	米国: 製造業受注(9月)・耐久財	▲1.1%	▲0.8%	+0.2%	前月比
	・非国防資本財(除航空機)	▲0.5%	▲0.1%	▲0.4%	前月比
	米国: 新築住宅販売件数(9月)	70.1	69.9	71.3	万件
10月25日(金)	ドイツ: ifo景気動向指数(10月)	★	94.5	94.6	ポイント
10月26日(土)	—	—	—	—	—
10月27日(日)	—	—	—	—	—

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.794	+4.1	▲6.2	▲122.9	1.566	1.629	2.015
日本	-0.150	+0.5	+11.0	▲26.0	-0.193	-0.202	-0.115
ドイツ	-0.362	+2.0	+21.3	▲76.0	-0.493	-0.520	-0.219
豪州	1.058	▲4.4	+11.7	▲155.3	1.000	1.052	1.516
株価							
NYダウ	26958.06	+0.7	▲0.0	+7.9	26716	26639	26190
日経平均	22799.81	+1.4	+3.5	+7.2	22031	21429	21392
ユーロSTOXX50	3624.68	+1.3	+3.2	+14.5	3537	3471	3402
上海総合	2954.93	+0.6	▲0.0	+13.5	2944	2923	2935
為替相場							
ドル/円	108.66	+0.2	+0.8	▲3.3	107.97	107.38	109.06
ユーロ/円	120.41	▲0.6	+2.1	▲5.8	119.00	119.00	122.20
豪ドル/円	74.13	▲0.3	+1.9	▲6.8	73.17	73.22	75.95
ユーロ/ドル	1.108	▲0.8	+1.3	▲2.6	1.102	1.108	1.120
商品市況							
WTI	56.66	+5.4	+0.3	▲15.8	54.41	55.49	57.23
金	1499.5	+0.8	▲0.4	+22.0	1496	1488	1380

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (10/21~10/25) の金融市場は、材料に欠けるなか株式市場では個別企業の決算に一喜一憂する展開が続いた。米国では、市場の事前予想以上の結果が目立ち、株式市場は総じて堅調な推移となった。国際情勢では大きな変化はなかったものの、“悪化した材料がない”ことで市場の足を引っ張ることはなかった。

今週のマーケットは、前週とは打って変わって材料が目白押しとなる。日米で金融政策の決定会合が行われるほか、米国ではGDP速報値のほか雇用統計やISM製造業景気指数、中国ではPMI製造業景気指数、ユーロ圏ではGDP、日本では鉱工業生産や消費増税直前の駆け込み度合いをはかる9月分の商業販売統計も注目される。こなす材料が多すぎる上に、週末に雇用統計を控えていることもあって、(米雇用に関する材料以外で)週末まで市場の動きが一方向に偏ることはなさそう。FOMCでは0.25%の追加利下げが予想されているものの、焦点は声明文の内容と議長の記者会見で、さらなる利下げの可能性が高いのかどうかというところ。9月FOMC時に発表されたメンバーの金利予想では、2020年末までFF金利は1.50~1.75%の水準が妥当との見方が最も多かった。メンバー予想は逐次変わっていくものの、この一月半の間にFRBの見方が変わっているのかどうかを占う機会となる。また、雇用統計の結果如何では、FRBの追加利下げに対する姿勢の市場への伝わり方が債券市場や為替市場の動揺を誘うリスクもあるため、FOMCと雇用統計をセットでみる必要があろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
10月28日(月)	—				
10月29日(火)	日本：都区部消費者物価指数（10月）・総合 ・除生鮮食品 米国：消費者信頼感指数（10月）	★ ★★	+0.6% +0.6% 127.9	+0.4% +0.5% 125.1	前年比 前年比 ポイント
10月30日(水)	日本：商業販売統計・小売業販売額（9月） 米国：ADP雇用統計（10月） 米国：実質GDP速報値（7-9月期） カナダ：金融政策委員会 米国：FOMC・上限金利 ・下限金利 ・パウエルFRB議長記者会見 ブラジル：金融政策委員会	★★★ ★★★ ★★★ ★ ★★★ ★★★ ★★★ ★	+6.1% +132 +1.5% 1.75% 1.75% 1.50% 5.00%	+1.8% +135 +2.0% 1.75% 2.00% 1.75% 5.50%	前年比 前月差、千人 前期比年率 翌日物貸出金利 FF金利 FF金利 政策金利（Selic）
10月31日(木)	日本：鉱工業生産指数（9月） 日本：住宅着工戸数（9月） 日本：日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 ・総裁記者会見 中国：PMI製造業景気指数（10月） ユーロ：実質GDP速報値（7-9月期） ユーロ：消費者物価指数速報値（10月）・総合 ・コア 米国：個人所得支出統計（9月）・実質個人消費 ・PCEコアフレート	★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★ ★ ★	+0.4% 87.8 — — 49.8 +0.1% +0.7% +1.0% +0.2% +1.4%	▲1.2% 89.1 ▲0.10% 0.00% 49.8 +0.2% +0.9% +1.0% +0.1% +1.4%	前月比 万戸 日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り ポイント 前期比 前年比 前年比 前月比 前年比
11月1日(金)	日本：労働力調査・失業率（9月） 日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率（9月） 日本：新車販売台数（10月）・乗用車 中国：財新PMI製造業景気指数（10月） 米国：雇用統計（10月）・非農業就業者数 ・失業率 ・時間あたり賃金 米国：ISM製造業景気指数（10月） 米国：自動車販売台数（10月）	★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★ ★★★	2.2% 1.59倍 — 50.9 +93 3.6% +3.0% 49.0 1,700	2.2% 1.59倍 +13.3% 51.4 +136 3.5% +2.9% 47.8 1,720	前年比 ポイント 前月差、千人 前年比 ポイント 万台
11月2日(土)	—				
11月3日(日)	—				

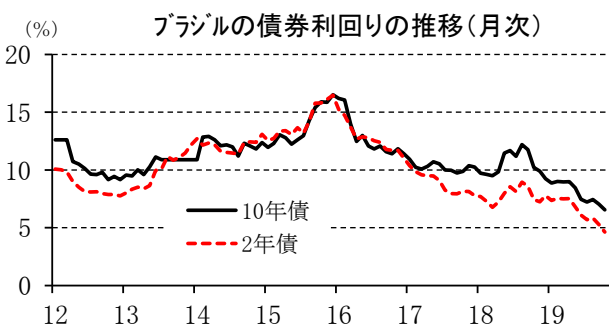
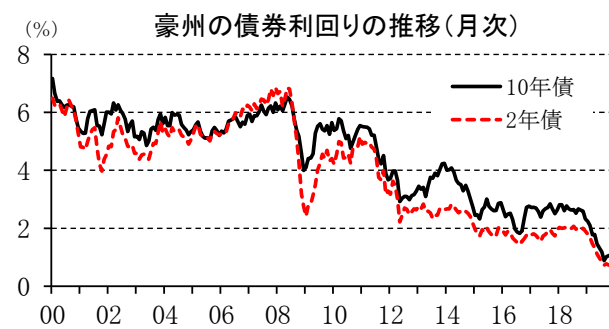
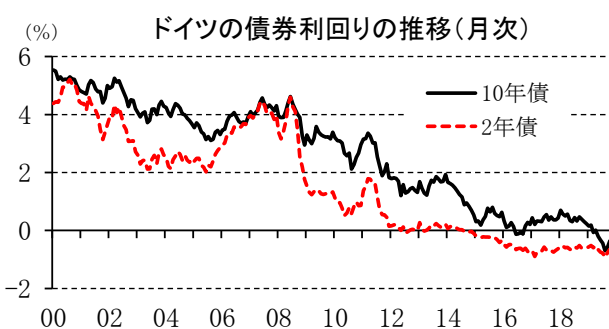
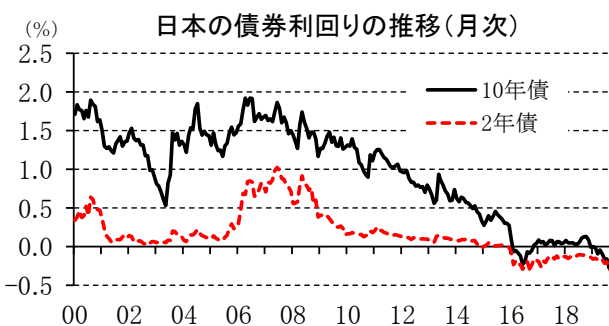
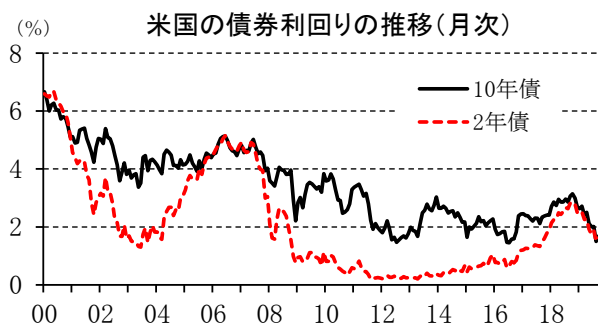
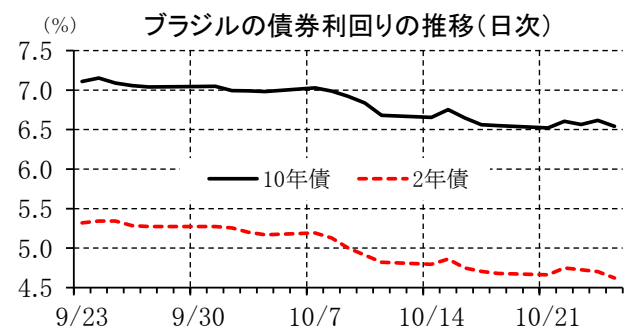
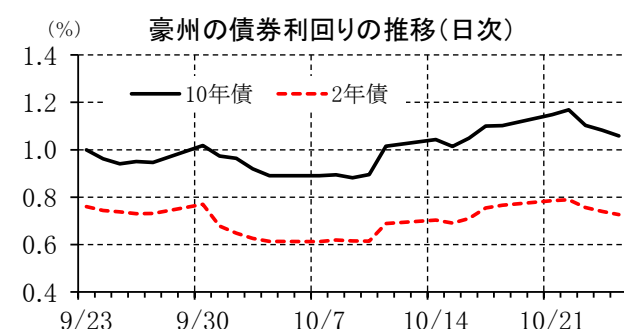
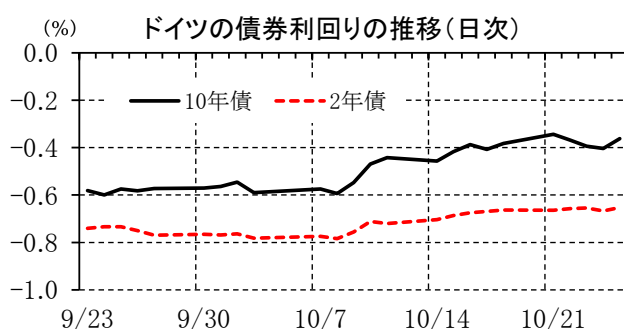
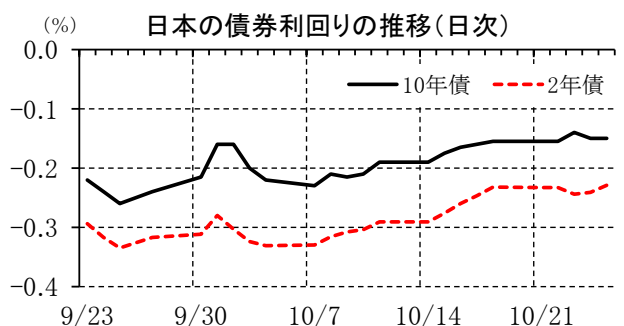
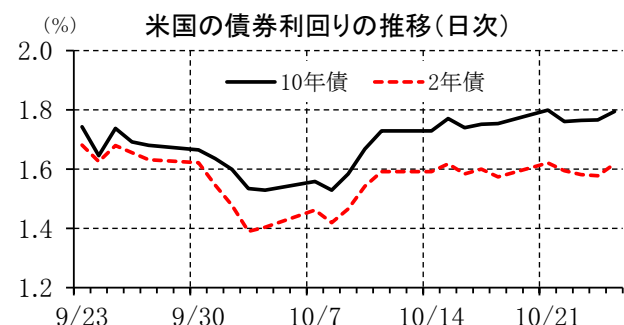
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

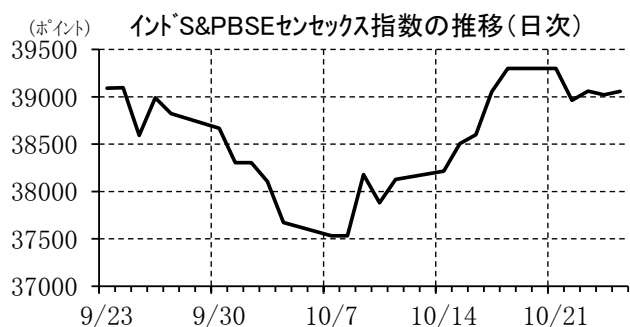
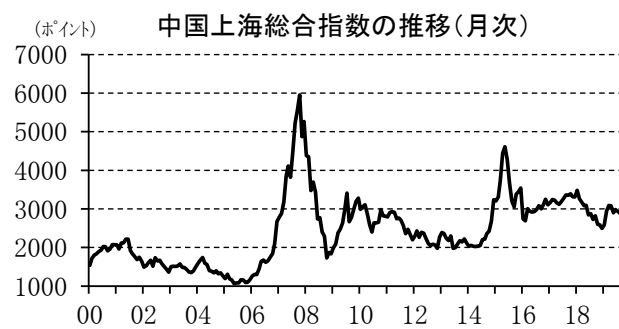
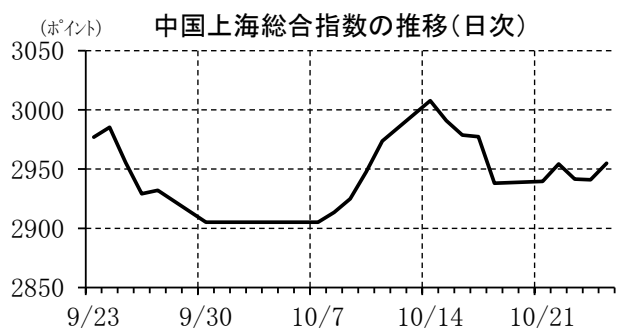
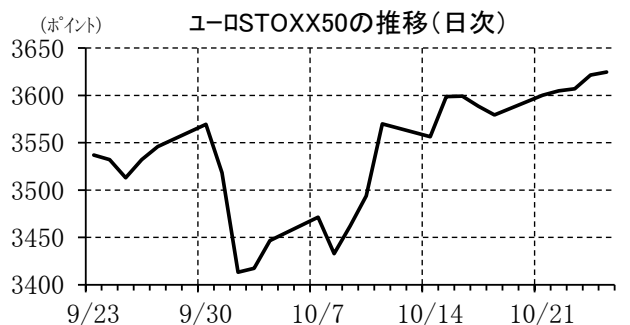
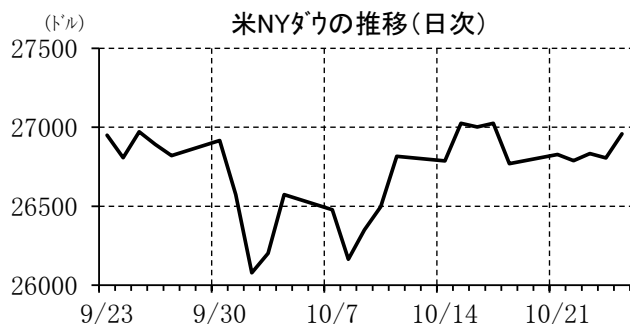
発表日	イベント	注目度	備考
10月28日(月)	中国：第19期中央委員会第4回全体会議（4中全会）（～10/31）	★★	
10月29日(火)	—		
10月30日(水)	ユーロ：ラウレンツェレカール-ECB理事講演		
10月31日(木)	日本：日銀展望レポート 英国：EUからの離脱協議期限 ユーロ：ドラギ ECB総裁退任 EU：ユンケル欧州委員会委員長退任	★ ★★★	
11月1日(金)	ユーロ：ラガルド ECB総裁就任 EU：フォンデアライエン欧州委員会委員長就任 米国：クラリダ FRB副議長講演	★	
11月2日(土)	—		
11月3日(日)	米国：夏時間終了		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

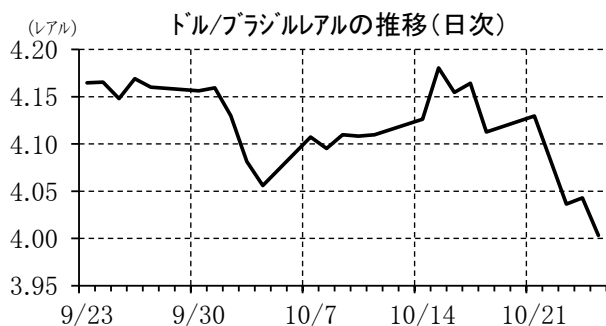
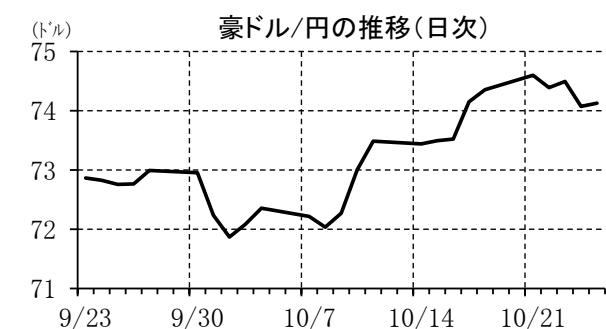
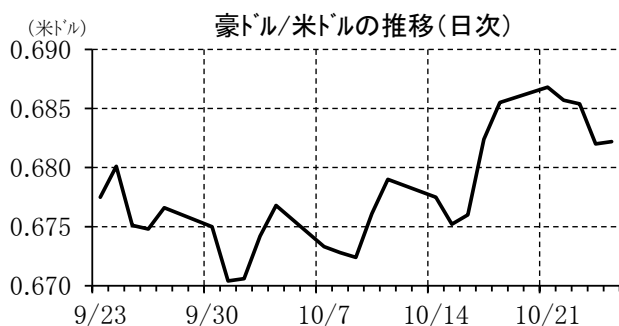
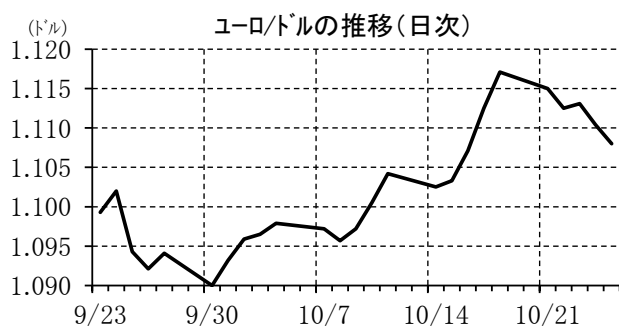
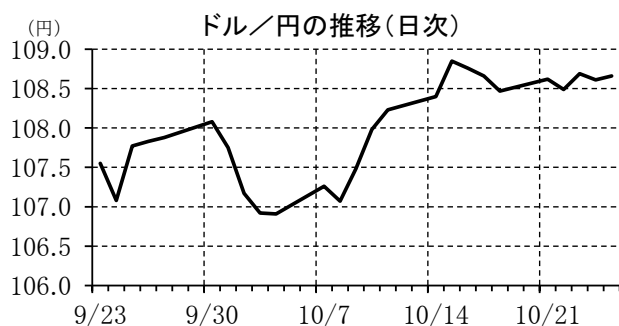
【債券利回り】



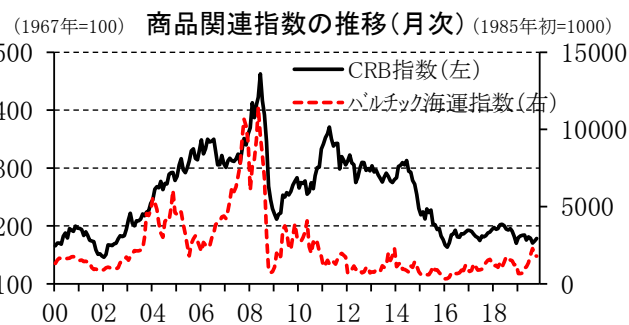
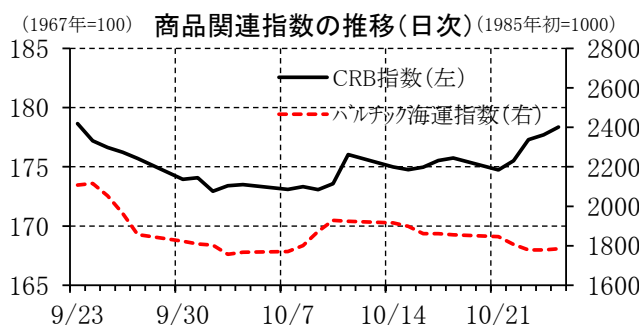
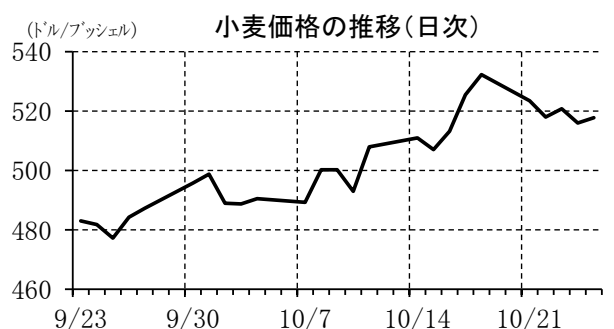
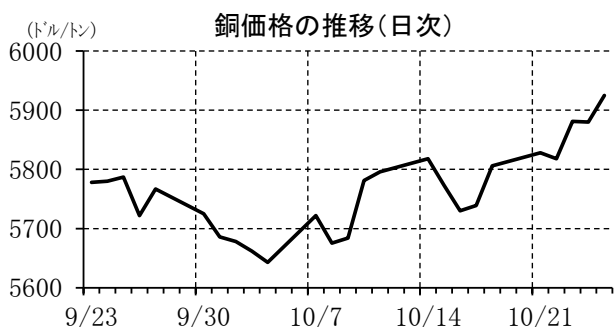
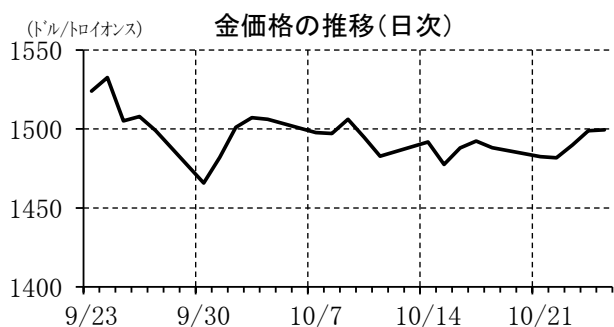
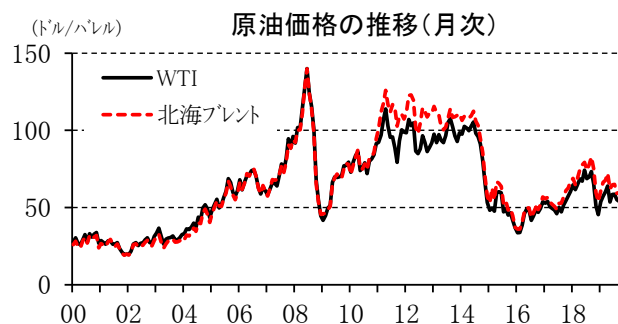
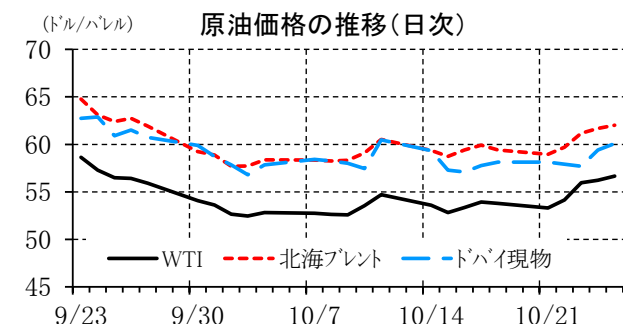
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。